

# 式典が挙行されました

## 町政功労表彰

笠松町の礎を築かれ、また、発展に尽力されたそれぞれの分野から個人180人と21団体の方々が表彰され、表彰状と記念品が贈呈されました。

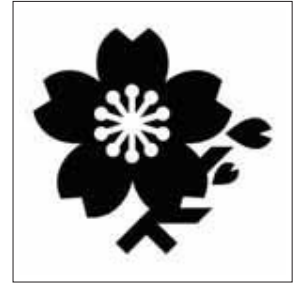


地方自治功労24人を代表して表彰状を受け取る加藤一夫さん

## 町の「花」

### 『さくら』を制定

過去のアンケートや記念事業検討懇談会などの意見をふまえ、町の「花」『さくら』を制定し、記念式典において発表しました。



『さくら』のロゴマーク

最後に問宮副町長が、「この日をスタートに、更なる努力を誓うとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします」と閉会挨拶を述べ、式典は終了しました。

## 町生誕120年記念事業 「道徳のまち笠松」のつどい

### 曾野綾子さん 笠松に語る! 『住みよい町にするために』

11月1日、笠松中央公民館において、「道徳のまち笠松」のつどいが開催されました。会場は450人の皆さんであふれました。

町長のあいさつ、「道徳のまち笠松」の取り組みの紹介に続き、曾野綾子さんに講演をいただきました。

住みよい町にするためには、一人ひとりのあり方を尊重すること、自分自身が精神的に自立することを強調されました。そして、人と人とのかかわりには常に苦しさや厳しさが伴うことを、宗教や世界の貧困にあえぐ人々の姿にふれながらお話いただきました。私たちが、今大切にしたいことは「与えることと感謝すること」と語られ、笠松がいっそう発展するよう励ましていただきました。



曾野綾子さんの講演

最後に、「道徳のまち笠松」推進会議の道家会長が「道徳のまち笠松のアピール」を読み上げ、参加された皆さんの拍手をもって採択されました。

### 道徳のまち笠松 アピール

私たちは誰しも、この「笠松」に引き継がれてきた道徳心を大切に、生きがいと誇りのもてる心温まる町で暮らしたいと願っています。そのために、人と人がつながりを深めること、自ら地域社会の活動に取り組むこと、互いに尊重しあう心をもつことの三つを「笠松人のこころ」として大切にしたいと考えてきました。

私たち一人ひとりが、この“笠松人のこころ”を日々の生活に生かす努力をしなくては、ただのお題目になってしまいます。少しずつでも、みんなで取り組めば、この町の信頼、規範、ネットワークを高めることができます。私たち「道徳のまち笠松推進会議」は、次のことを提案します。

- 1.ポイ捨てゴミのない、きれいな町づくりをしましょう。
- 1.あいさつで人がつながる、温かい町づくりをしましょう。
- 1.互いに支え合い、安心できる町づくりをしましょう。

平成21年11月1日

平成21年度「道徳のまち笠松」のつどい